

日本表面処理新聞

(19) 平成18年(2006年)1月1日

アクアテックと日本電工

ウエステックに出展

日本環境衛生センター等主催の廃棄物処理・再資源化展「ウエステック2005」が十一月二十九日から十二月二日まで千葉の幕張メッセで開催されたが、表面処理関係では(株)アクアテック(大阪市此花区島屋四の二の七、電話〇六一六四六〇一〇六八八)と日本電工(株)(東京都中央区築地一の一三の一四、電話〇三三三五四六一九三三三三)が出展した。

アクアテックは、無電解ニッケルめっきの排水処理に世界で初めて採用され安全操業を続けているガスセンサーを用いて硫化剤の添加量を制御する新しい硫化物法「SSプロセス」を出展した。このS

Sプロセスは、古い硫化物法で実用の障害であった悪臭発生や沈殿のコロイド化が全くなく、安全でスムーズな運転ができるという優れたものである。また、従来行ってきた水酸化物法に比べると発生するスラッジ量は三分の一以下に減少、得られる含水率の低くニッケル含有量が高いスラッジは、山元還元用に供される原料として有価で販売している。

その他、高純度のフッ素化合物を有価物として回収するフッ素排水処理技術、ガスセンサーを採用した窒素成分除去技術など高性能プロセスもアピールした。

